

— 株主のみなさまへ —

BUSINESS REPORT

2022.4.1 ▶ 2022.9.30

おかげさまで井村屋グループは
2022年に創業125年、
会社設立75周年を迎えさせていただきました。

Be always for Customers!
井村屋グループ株式会社

あずき花



imuraya group

第86期 中間報告書

あずきの皮使用



あずき混抄紙 紅金剛

この株主報告書の表紙に使用している紙は、
井村屋本社工場にて生あんの製造時に出る
あずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



代表取締役会長 (CEO)
浅田 剛夫

代表取締役社長 (COO)
中島 伸子

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・すぐれたサービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

「Be always for Customers!」

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第86期上半期(2022年4月～9月)が終了し、中間報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当会計年度の日本の経済環境は、新型コロナウイルスによる感染拡大や原油価格高騰に起因する原材料価格上昇に歯止めがかからず、景気の先行きは依然不透明な経営環境にあります。

このような中、当グループは創業125年・会社設立75周年の記念年次を迎えさせていただきました。また中期3カ年計画「Be Resilient 2023～新しい時代をしなやかに生きる～」の2年目を迎え、計画達成の重要な年次において、ウィズコロナの市場変革に機敏に対応してまいります。さらに2022年度は「進取」をテーマに喫緊の諸課題をグループ一丸で乗り越えていきます。

当第2四半期は引き続き菓子・冷菓を中心とした海外輸出と国内における各カテゴリーの顕著な販売増進が進み、前年を上回る成績を残すことができました。

また8月31日をもって閉店いたしましたアンナミラズ高輪店につきましては閉店発表直後より多くのお客様にご来店いただき、厚く御礼申し上げます。

今後「アンナミラズブランド」を活用し、新たな展開も視野に入れ、お客様の期待にお応えしてまいります。

下半期においては点心・デリ事業において、おいしさとこれまで以上に環境に配慮されたパッケージにリニューアルを行った「2コ入ゴールドまんシリーズ」や「4コ入パックまんシリーズ」などの市場投入や、発売60周年を迎える「ゆであずきシリーズ」は原材料すべてを北海道産で揃えたシリーズにリニューアルを図るなど、ブランドの進化と深化を進めてまいりました。

引き続き国内外で「おいしい!の笑顔」を届ける活動に邁進いたします。

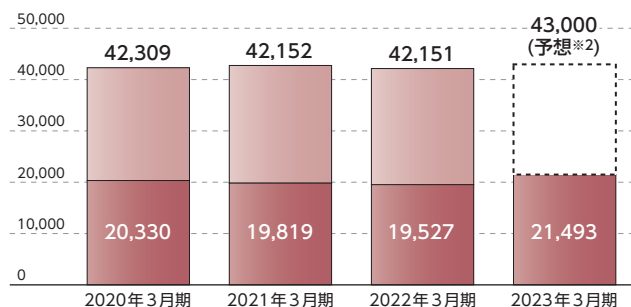
株主のみなさまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

■ 通期実績 (4月1日～3月31日) ■ 中間実績 (4月1日～9月30日)

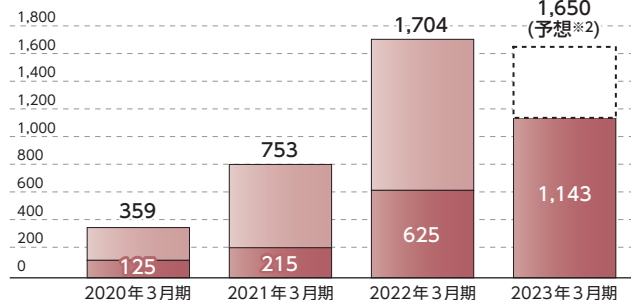
売上高※1

単位:百万円



営業利益

単位:百万円

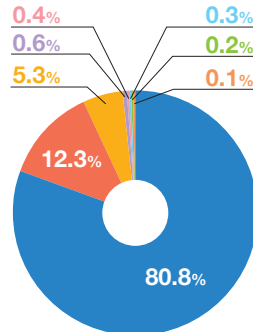


※1 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準(企業会計基準第29号)」等を適用しております。

※2 2022年5月12日付の「2022年3月期決算短信」において公表した業績予想を記載しております。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

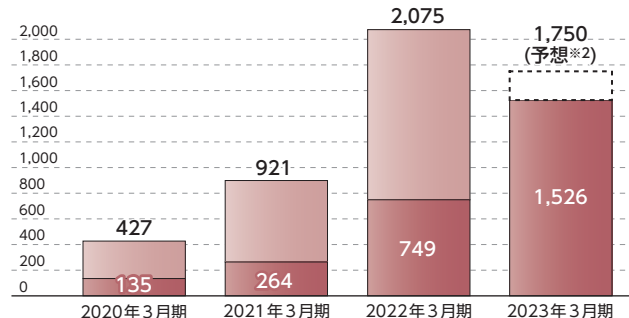
持株会社及び事業会社別の売上高

■ 井村屋(株)	80.8%
■ 井村屋フーズ(株)	12.3%
■ IMURAYA USA, INC.	5.3%
■ 北京京日井村屋食品有限公司	0.6%
■ 井村屋(北京)食品有限公司	0.4%
■ 井村屋グループ(株)	0.3%
■ イムラ(株)	0.2%
■ 井村屋(大連)食品有限公司	0.1%
■ IMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.	0.0%



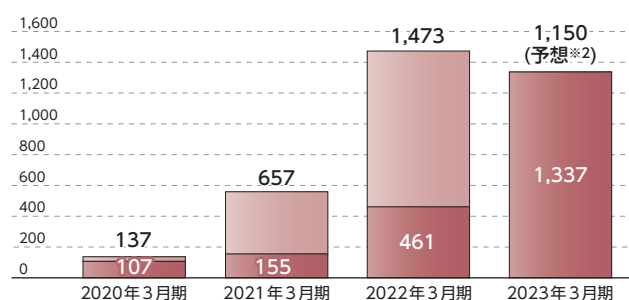
経常利益

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



井村屋グループ新・中期3カ年計画

Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～

井村屋グループは2021年度より「Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～」がスタートしております。新しい時代で生き残っていくため、この中期3カ年計画の変革課題を「バランス経営」と定めています。しなやかでバランスのとれた経営を行い、持続可能な「継承」を目指して、目標達成に向けて邁進してまいります。

2024年3月期 目標

<財務指標>

- 売上高 465億円
- 営業利益 19億円 (売上営業利益率 4.0%)
- 海外事業売上高比率 7.5%

<非財務指標>

- 温室効果ガス排出削減: 2013年度比 35%減
- 国内事業廃棄物量削減: 2019年度比 50%減
- 女性管理職比率 15%以上

四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2022年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2022年9月30日
(資産の部)		
流動資産	10,739	13,921
現金及び預金	1,069	1,007
売掛金	5,188	7,046
棚卸資産	3,672	4,330
その他	809	1,537
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	18,683	18,882
有形固定資産	15,811	15,968
無形固定資産	119	156
投資その他の資産	2,751	2,756
資産合計	29,422	32,803
(負債の部)		
流動負債	10,378	12,822
固定負債	1,651	1,681
負債合計	12,030	14,504
(純資産の部)		
株主資本	14,963	15,950
その他の包括利益累計額	2,384	2,311
非支配株主持分	44	38
純資産合計	17,392	18,299
負債・純資産合計	29,422	32,803

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 資産

販売増加に伴う売掛金及び棚卸資産の増加などにより、流動資産が増加いたしました。また、新工場建設に伴い建設仮勘定が増加し、固定資産が増加いたしました。

POINT2 負債

未払金や冬物商品の生産に連動した買掛金の増加などにより、流動負債が増加いたしました。

POINT3 純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益の増加などにより、純資産が増加いたしました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	19,527	21,493
売上原価	12,649	13,710
売上総利益	6,877	7,782
販売費及び一般管理費	6,252	6,639
営業利益	625	1,143
営業外収益	144	399
営業外費用	20	15
経常利益	749	1,526
特別利益	5	449
特別損失	4	7
税金等調整前四半期純利益	749	1,968
法人税等合計	280	637
四半期純利益	469	1,331
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	461	1,337

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1

夏場の冷蔵商品の販売が好調に推移し、調味料事業ではOEM受託商品の売上が伸長しました。

POINT2

継続した生産性向上活動の効果に加え、円安による為替の影響や輸出促進に関する補助金収入などにより、四半期純利益は前年同期を上回りました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	709	597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 617	△ 902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 56	71
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66	△ 171
現金及び現金同等物の期首残高	1,099	1,069
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	109
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166	1,007

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
前年同四半期に比べ、売上債権及び棚卸資産の増加により、収入が減少いたしました。

POINT2

(投資活動によるキャッシュ・フロー)
前年同四半期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加いたしました。

POINT3

(財務活動によるキャッシュ・フロー)
前年同四半期に比べ、長期借入金及びリース債務の返済による支出が減少いたしました。

連結売上高

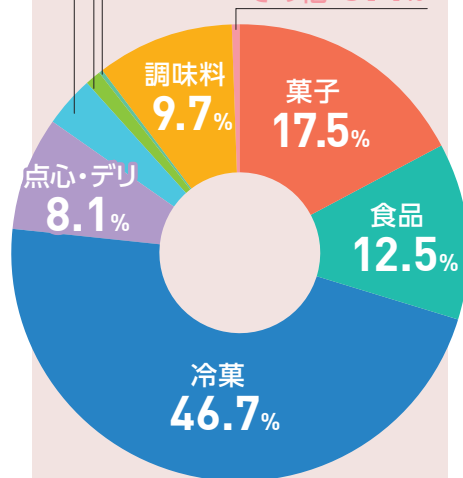
21,493百万円

デイリーチルド 3.6%

スイーツ 1.2%

VISON 0.3%

その他 0.4%



菓子 3,750百万円
(前年同期比873百万円(30.3%)増)

災害用備蓄商品として評価の高い「えいようかん」が優れた災害食・非常食を国内外に発信する「災害食大賞2022」において「健康・アレルギー対応部門」で優秀賞を受賞し、売上も順調に伸長しました。「もっちりぷるんわらびもち」など「水ようかん類」が好調に推移し、冷凍和菓子の季節限定商品「4コ入 よもぎ草餅(つばあん)」、「4コ入 黒ごまクリーム大福」も売上増加に貢献しました。また、IMURAYA USAでは日本から輸入したカステラの売上が大きく増加しました。



食品 2,676百万円
(前年同期比210百万円(8.5%)増)

夏物商品の「氷みつ」の売上が伸長しました。今年発売60周年を迎えた「ゆであずき」や「お赤飯の素」も順調に推移し、新商品の「日本酒香るあんこ」「ラム酒香るあんこ」が好評をいただいております。冷凍食品では「井村屋謹製かりーぱん」やコレステロールゼロの「2コ入 大豆ミートまん」が売上を伸ばしました。井村屋フーズ株式会社の食品加工事業では、高粘性のタンパク入りゼリーや固形入りゼリーの生産技術を活用したスパウチ商品の受託加工が引き続き堅調に推移しました。



冷凍 10,037百万円
(前年同期比384百万円(4.0%)増)

夏場の主力商品「あずきパー」シリーズが引き続き順調に推移しました。今年で発売10周年を迎えた「やわもちアイス」シリーズでは、限定商品「やわもちアイス 焦がしみたらし」、「やわもちアイス みかん大福味」が好調に推移し、新商品「やわもちアイス パフェ いちご大福味」も好評をいただきました。「ボールアイス」シリーズでは発売50周年を迎えた「メロンボール」や期間限定で販売した新商品の「ドラえもんボール」が売上増加に貢献しました。また、IMURAYA USAでは「やわもちアイス」や「あずきパー」など日本からの輸入商品の売上が増加しました。



点心・デリ 1,745百万円
(前年同期比178百万円(11.4%)増)

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、8月からのコンビニエンスストア導入が順調にスタートしました。リニューアルした「肉まん」等の定番商品や高付加価値商品が好調に推移し、新しい企画商品も売上増加に貢献しました。



VISION(ヴァイソン) 55百万円
(前年同期比34百万円(160.4%)増)

福和蔵
左:純米酒 中:純米吟醸 右:純米大吟醸

VISIONカテゴリーでは、「福和蔵」において期間限定で販売している「福和蔵 純米大吟醸」が三重県新酒品評会での優等賞受賞に続き、全国新酒鑑評会においても入賞し、高い評価をいただいております。また、「福和蔵 純米酒」も全国燗酒コンテスト2022において金賞を受賞し、認知度の向上が図られました。「菓子舗井村屋」においては、夏場に「かき氷」や「贅沢あずきバー」など夏季メニューが人気となり、売上が伸長しました。



デイリーチルド 767百万円
(前年同期比132百万円(21.0%)増)

「豆腐類」では「美し豆腐」や「大豆屋和蔵 大豆ッ子」の売上が伸長し、新製法で大豆の甘味・風味を引き立てた「そのまま食べて美味しい豆腐」も順調に推移しました。また、秋冬物商品の「チルドパックまん」も順調なスタートとなりました。



調味料 2,090百万円
(前年同期比49百万円(2.4%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、家庭内食向けの商材と機能性素材が堅調に推移しました。中国での調味料事業は、依然としてコロナ禍の影響が続く中、売上は増加に転じています。



スイーツ 266百万円
(前年同期比99百万円(59.6%)増)

スイーツカテゴリーでは、各店舗の客数も回復傾向となり、売上は前年同期を上回りました。また、「アンナミラーズ」の日本唯一の店舗である高輪店は国土交通省による品川駅西口基盤整備事業に伴う移転要請に合意し、2022年8月31日で閉店いたしました。営業最終日まで連日の来店が続く、たくさんの感謝や励ましの声をいただく運びとなりました。ご愛顧に心から感謝し、今後も「アンナミラーズ」ブランドの価値を守り、継続して商品をお買い求めいただけるよう、努力してまいります。「JOUVAUD(ジュヴォー)」では新たに「La maison JOUVAUD(ラ・メゾン・ジュヴォー)虎ノ門ヒルズ店」を7月20日にオープンしました。店舗は再開発の中心地であり、上質でハイセンスな居住地として注目される「虎ノ門ヒルズレジデンシャルタワー」2階にあります。コロナ禍でのスタートとなりましたが、高い技術を活かしたプロヴァンス菓子の数々を提供し、集客数も着実に増加しております。



その他 103百万円
(前年同期比3百万円(4.0%)増)

イムラ株式会社において井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は、感染防止対策の徹底とお客様へのサービス向上に取り組みました。「ソフトアイスクリーム&スイーツ店WaiWai(ワイワイ)」においては、「贅沢あずきバー」の取扱いを開始し、季節のデザートとともに好評を得ております。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,803株を含む)
単元株式数	100株
株主数	11,122名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,269	9.70
株式会社三十三銀行	647	4.94
株式会社百五銀行	578	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	559	4.27
井村屋取引先持株会	558	4.26
株式会社サンライフ	321	2.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	287	2.19
株式会社りそな銀行	286	2.18
株式会社西村商店	239	1.82
株式会社榎本武平商店	214	1.63

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

- (ご注意)
- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。上期9月30日現在の株主様のご優待品は12月中旬にお送りいたします。以下は、2022年9月30日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の
井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト
次の3種類からお一つお選びいただけます。

点心・デリ&アイスクリーム詰合せ



和菓子の彩



福和蔵 日本酒セット
純米酒／純米吟醸
各300ml



※②で点心・デリ&アイスクリーム詰合せをお選びいただいた場合、冷凍商品のためオリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

スイートポテトアイス

白あんを加えたしっとり口溶けの良いおいもキャラメルケーキに、国産紅はるかペーストを配合したさつまいもの優しい甘さを感じられるアイスのをせました。さらに、さつまいもダイスと焼きいもの風味やホクホク感が味わえるソースをかけ、3層構造の組み合わせが楽しめるアイスです。香ばしさまで表現した本格的な「スイートポテト」のおいしさをアイスで堪能できます。



やわもちアイス 焦がしみたらし・やわもちアイス パフェ いちご大福味

やわもちアイスシリーズは、今年で発売10周年を迎えました。10周年の季節限定フレーバーでは、やわもちの原点となる「和」「おもち」にフォーカスし、日本のもち菓子をアイスで表現しています。第3弾では、もち菓子の定番として人気のみたらし団子を表現。専門店のように焼いて焦げ目をつけたような本格的な香ばしさが楽しめるアイスです。10周年企画の締めくくりとなる第4弾は、シリーズ初のパフェ仕立てで、和菓子の中でも人気のいちご大福を特別感あふれるパフェ風にアレンジしました。いちご果肉や練乳アイス、井村屋謹製のこしあんなどの6層構造で、贅沢な時間をお届けします。



ラム酒香るあんこ・日本酒香るあんこ

スプーンでそのまま食べられる、新感覚のお酒入りあんこです。「ラム酒香るあんこ」には、濃厚で香り豊かなマイヤーズラムとラムレーズンミンチを使用しました。また、「日本酒香るあんこ」には、フルーティーで上品な味わいが特徴の自社醸造「福和蔵 純米吟醸」の酒粕を使用しています。クラッカーやアイスにトッピングしても美味しくお召し上がりいただけます。



4コ入黒ごまクリーム大福

作りたてのおいしい状態を急速冷凍でキープすることで、出来立てのおいしさが味わえる井村屋の冷凍和菓子シリーズの季節限定商品。やわらかいおもちで黒ごまのkokoroと香ばしさが楽しめる黒ごまあんミルクの風味豊かな優しい甘さのホイップクリームを包んだデザート仕立ての大福です。電子レンジでも使用可能な切り離せるトレーで、お皿を使わず、食べたい時に食べたい分だけ解凍することができます。普段のおやつや食後のデザートにいかがでしょうか。



袋入わらびもち みかん・袋入羊羹 黒糖

春夏定番の「袋入水ようかんシリーズ」から、初の秋冬商品が登場しました。「袋入わらびもち みかん」は、愛媛県産温州みかんの甘みと爽やかな香りをお楽しみいただける、ぷるんとした食感のわらびもちです。「袋入羊羹 黒糖」は、沖縄県産黒糖を使用した黒糖寒天と、風味豊かな黒糖あんの二層からなる羊羹です。素材を活かした豊かな風味となめらかな食感をお楽しみいただけます。



▲袋入わらびもち みかん ▲袋入羊羹 黒糖

パックまん・ゴールドまんシリーズ リニューアル

このたび、定番商品である「4コ入パックまんシリーズ」「3コ入チルドまんシリーズ」と、肉まん・あんまんのプレミアムラインである「チルドゴールドまんシリーズ」「冷凍 ゴールドまんシリーズ」をリニューアルしました。「4コ入パックまんシリーズ」は、生地に保水力を高める工夫を施したことで、電子レンジ調理後も出来立てのようなふっくら感をお楽しみいただけます。また、環境負荷軽減を目的にトレーと袋を小さく変更しました。「チルド ゴールドまんシリーズ」「冷凍 ゴールドまんシリーズ」では、「二段発酵製法」を継続して採用しつつ製法を見直すことで、さらにおいしくリニューアルするとともに、トレーをなくすことでCO2排出量削減に貢献します。



▲4コ入パックまんシリーズ



▲冷凍 ゴールドまんシリーズ

えいようかん「災害食大賞2022」優秀賞受賞

えいようかんが「災害食大賞2022」「健康・アレルギー対応部門」で優秀賞を受賞しました。

「災害食大賞2022」とは一般社団法人防災安全協会が創設した表彰制度で、えいようかんは2019年の受賞に続き2度目の受賞となります。

ようかんという日本の伝統的な味を災害時でも食べられることが避難生活での疲れやストレスを抑えるための1つの理由になるとして評価いただきました。



ゆであずき発売60周年

1962年に発売した井村屋の「ゆであずき」は2022年度で発売60周年を迎えました。60周年を記念して、記念サイトをオープンいたしました。井村屋ゆであずきの歴史やレシピを紹介するとともに、お楽しみコンテンツとしてスマートフォン用の壁紙がもらえるなど盛りだくさんの内容です。

また、ゆであずきのイラストレシピ本「魅惑の井村屋あずき茶房」(主婦の友社出版)も発売中です。井村屋こだわりの「ゆであずき」をこれからもぜひお楽しみください。



井村屋ゆであずき60周年
ブランドサイトはこちらから→

【URL】
<https://muraya-cp.jp/yudeazuki/>



アンナミラーズ高輪店の閉店

アンナミラーズは1973年に南青山に1号店をオープンし、アメリカ料理とホームメイドパイを提供するレストランとして多くのお客様にご支持いただきました。

青山店を皮切りに関東圏に延べ26店舗を出店いたしましたが、生活スタイルの変化などもあり、高輪店のみ営業を続けておりました。そして品川駅西口基盤整備事業に伴い、2022年8月31日をもって閉店いたしました。

現在は公式オンラインショップにてアンナミラーズ商品をお買い求めいただけます。今後の新規出店につきましても、十分な立地調査のうえ検討を進める予定です。



アンナミラーズ
公式オンラインショップは
こちらから↓



URL : <https://annamillersrestaurant.shop/>

La maison JOUVAUD 虎ノ門ヒルズ店 新規出店

井村屋グループは2003年から日本国内でジュヴォーブランドを展開しております。

広尾店(東京)とKITTE名古屋店、京都祇園店、ジェイアール京都伊勢丹店に続き、2022年7月20日に「虎ノ門ヒルズレジデンシャルタワー」2階に新たな店舗を出店いたしました。

店内にはサロン・ド・テ(喫茶スペース)を併設し、ラ・メゾン・ジュヴォーの生ケーキやクロワッサンが優雅なひと時を演出いたします。気候が良い時には、テラス席でお召し上がりいただけます。

ジュヴォーが持つ代々受け継いできた高い技術を活かしたプロヴァンス菓子の数々を最先端の街「虎ノ門」でご提供いたします。



おにぎりアクションへの参加



おにぎりアクションは、日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、「おにぎり」の写真をSNS、または特設サイトに投稿すると、1枚の写真投稿につき給食5食分に相当する寄付(100円)を協賛企業が提供し、認定NPO法人TABLE FOR TWO Internationalを通じてアフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。井村屋グループも2021年からこの取り組みへ賛同し協力をスタートしました。協賛企業として活動をサポートしながら、おにぎりアクションを通じて社員がSDGsの大切さを学ぶ場を提供していきます。

▼おにぎりアクションの仕組み

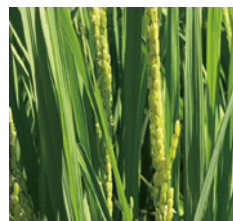


※この活動はSDGsの17の目標のうち、「2.飢餓をゼロに」に該当する取り組みです。

三重県多気町の生産者との酒米「神の穂」の栽培

「神の穂」は三重県農業研究所で育種し、品種登録された酒米です。三重県での栽培適性に優れた品種として県の奨励品種に採用されており、福和蔵の純米吟醸酒の酒米としても使用しております。しかし、当社が酒事業に参入した当時、酒蔵の所在地である三重県多気町では「神の穂」を含む酒米がほとんど栽培されておりました。そこで、テロワール*に根ざした酒造りをコンセプトとする福和蔵では、役場・JA・農業改良普及センターなどを通じて地元の生産者様をご紹介いただき、2021年よりテスト栽培を開始しました。地元生産者様のご協力のもと、テスト栽培初年度より良質な酒米が収穫できたことから、2022年度はさらに面積を広げて契約栽培を行っております。この取り組みにより、地域の雇用創出や地産地消による環境負荷の低減を目指しながら生産者の顔が見える安全・安心な商品づくりを行ってまいります。

*テロワールはワイン等の生産に関わる生育地の「土地の要素」「気候の要素」「人的要素」を総合した生産環境のことを指し、味覚を決定する重要な要素とされています。



▲収穫の様子



▲福和蔵 純米吟醸

持株会社 概況(2022年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地	三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業	明治29年(1896年)
設立	昭和22年(1947年)4月
資本金	2,576百万円
従業員数	41名 ※グループ全体では964名(2022年9月30日現在)
事業内容	事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理
役員・執行役員	代表取締役会長(CEO)……………浅田 剛夫 代表取締役社長(COO)……………中島 伸子 取締役副社長……………菅沼 重元 取締役副社長……………岩本 康 専務取締役(CFO)……………富永 治郎 取締役……………岩上 真人 取締役……………前山 健 取締役……………大西 安樹 取締役(社外)……………西岡 慶子 取締役(社外)……………田中 里沙 取締役(社外)……………福谷 朋子 常勤監査役……………脇田 元夫 常勤監査役……………森井 英行 監査役(社外)……………若林 正清 監査役(社外)……………土田 繁 執行役員専務……………甲斐下方俊 執行役員常務……………行方 貞彦 執行役員常務……………井村 慎 執行役員常務……………近藤 久嗣 執行役員常務……………益川 博 執行役員……………岡田 孝平 執行役員……………尾崎 弘二 執行役員……………山路 明

(注)取締役西岡慶子氏・田中里沙氏・福谷朋子氏の3氏は社外取締役であります。監査役若林正清氏・土田繁氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2022年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社
 所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
 事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷凍、スイーツ、酒類の製造販売
 代表者：岩本 康 URL: <https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社
 所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
 事業内容：菓子、食品、冷凍、調味料、食品添加物の製造販売
 代表者：菅沼 重元 URL: <https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社
 所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
 事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
 代表者：中島 伸子 URL: <https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司
 所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼103
 事業内容：調味料の販売
 代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/jjif/>

井村屋(北京)食品有限公司
 所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼102
 事業内容：菓子、点心・デリの販売
 代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.
 所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
 事業内容：冷凍の製造販売及び菓子、食品、冷凍の輸入販売
 代表者：浅田 剛夫(CEO)、甲斐下方俊(COO) URL: <https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司
 所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
 事業内容：菓子、調味料の製造販売
 代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司
 所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
 事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
 代表者：近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/icm/>

井村屋スタートアッププランニング株式会社
 所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
 事業内容：グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
 代表者：大西 安樹

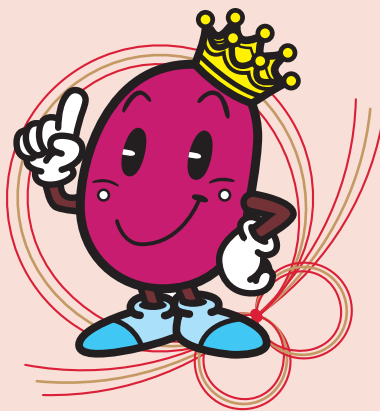
IMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.
 所在地：No.18-3, Jalan PJU 8/5c, Damansara Perdana, 47820 Petaling Jaya, Selangor
 事業内容：冷凍の製造、販売、輸出入
 代表者：大西 安樹(CEO)、小川 篤(MD) URL: <https://www.imuraya.com.my/>



この印刷物は、植物油
 インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
 デザインフォント
 を採用しています。



井村屋グループはSDGsの考え方を尊重し
社会性を重視したサステナブル経営に
取り組んでまいります。